



# 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 阪神内燃機工業株式会社  
 コード番号 6018 URL <http://www.hanshin-dw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門管掌 (氏名) 山本 幸二

TEL 078-332-2081

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,712	△4.2	215	△17.9	214	△18.0	127	△18.7
25年3月期第1四半期	2,832	△4.2	262	△17.0	261	△25.4	156	△20.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	7.97	7.93
25年3月期第1四半期	9.80	9.78

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	17,663	9,816	55.5	614.23
25年3月期	17,704	9,734	54.9	609.03

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 9,808百万円 25年3月期 9,726百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,300	△6.4	300	△36.2	300	△35.9	180	△37.5	11.27
通期	10,500	0.3	350	△23.0	350	△26.6	210	△23.9	13.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	16,009,000 株	25年3月期	16,009,000 株
26年3月期1Q	39,970 株	25年3月期	38,893 株
26年3月期1Q	15,969,719 株	25年3月期1Q	15,963,420 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
4. 補足情報 .....	8
(1) 受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、金融市場での回復傾向に加え、経済対策による公共投資の押し上げや企業の設備投資スタンスの強まり、円安継続による輸出環境の改善などが景気回復への期待感を高めております。

世界経済においては、全般的にやや回復傾向にあると見られるものの、緩やかに改善する米国、雇用情勢の悪化で弱含みのユーロ圏、好調なASEAN主要国に対する韓国やインドの低迷等、国や地域での温度差が見られるようになり、景気の回復にリスクをもたらしております。

当社の関わる海運・造船業界におきましては、世界経済の低迷により需要が大きく落ち込んだ後も、依然として回復の兆しが見えにくい状況にあります。当社が主力とする内航船分野につきましては、国内製造業の空洞化により輸送量が減っているものの、エネルギー供給構造高度化法の影響による製油所の閉鎖が白油タンカー船の建造を活発化する一方、復興需要によるセメント船やガット船にも引き合いが出てきております。また、鉄鋼業界の再編による物流の合理化の影響にも引き続き注視しております。海外案件では受注価格は依然として厳しい状況にありますが、中国・台湾の漁船向けなどに引き合いが継続しております。

このような企業環境のもと、当第1四半期累計期間の業績につきましては、受注高は、主機関が増加し、前年同期比5.2%増の2,411百万円となりました。売上高は部分品が落ち込み同4.2%減の2,712百万円となりました。受注残高は、主機関販売高に見合った受注が得られず、同15.0%減の3,378百万円となりました。

損益面につきましては、短納期案件の精力的な受注による操業度の確保、減価償却費負担の減少に加えて海外調達や競争購買による仕入コストの削減に注力しましたが、主機価格の下落が続き、営業利益は215百万円（前年同期比17.9%減）、経常利益は214百万円（同18.0%減）、四半期純利益は127百万円（同18.7%減）となりました。

事業区分別では、主機関の売上高は、輸出の不振が影響し1,595百万円（前年同期比3.6%減）となりました。部分品・修理工事では国内販売が落ち込み1,116百万円（同5.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は8,545百万円となり、前会計年度末に比べ37百万円増加いたしました。これは主に製品が258百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が312百万円増加したことによるものであります。固定資産は9,117百万円となり、前会計年度末に比べ78百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が83百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、17,663百万円となり、前会計年度末に比べ41百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は4,381百万円となり、前会計年度末に比べ58百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が81百万円増加したものの、前受金が142百万円減少したことによるものであります。固定負債は3,465百万円となり、前会計年度末に比べ65百万円減少いたしました。これは主に長期借入金110百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、7,846百万円となり、前会計年度末に比べ124百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は9,816百万円となり、前会計年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が79百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は55.5%（前会計年度末は54.9%）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月13日に公表いたしました業績予想の修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 1. 簡便な会計処理

##### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

##### ② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### 2. 特有の会計処理

##### ① 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,696,525	2,642,622
受取手形及び売掛金	3,264,024	3,576,714
製品	527,878	269,017
仕掛品	964,261	987,526
原材料及び貯蔵品	908,081	916,937
その他	303,298	291,450
貸倒引当金	△155,700	△138,600
流動資産合計	8,508,370	8,545,668
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,256,149	1,239,753
構築物(純額)	216,318	210,798
機械及び装置(純額)	816,892	777,130
車両運搬具(純額)	3,042	2,442
工具、器具及び備品(純額)	116,038	103,748
土地	5,817,871	5,817,871
建設仮勘定	12,811	3,661
有形固定資産合計	8,239,124	8,155,405
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	656,120	661,758
その他	329,106	328,786
貸倒引当金	△54,200	△54,200
投資その他の資産合計	931,027	936,344
固定資産合計	9,196,468	9,117,524
資産合計	17,704,838	17,663,193
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,160,170	2,241,703
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	443,428	443,428
未払法人税等	93,414	91,148
前受金	733,983	591,425
賞与引当金	133,000	68,700
製品保証引当金	21,600	14,000
受注損失引当金	76,200	83,400
その他	637,811	707,306
流動負債合計	4,439,607	4,381,111

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	432,860	322,003
再評価に係る繰延税金負債	1,714,667	1,714,667
退職給付引当金	863,803	877,903
その他	219,832	251,037
固定負債合計	3,531,163	3,465,611
負債合計	7,970,771	7,846,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,598	800,598
資本剰余金	42,424	42,424
利益剰余金	5,592,369	5,671,693
自己株式	△10,320	△10,504
株主資本合計	6,425,071	6,504,211
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	198,021	201,283
土地再評価差額金	3,103,168	3,103,168
評価・換算差額等合計	3,301,189	3,304,452
新株予約権	7,806	7,806
純資産合計	9,734,067	9,816,469
負債純資産合計	17,704,838	17,663,193

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,832,182	2,712,807
売上原価	2,049,097	2,068,654
売上総利益	783,085	644,153
販売費及び一般管理費	520,367	428,357
営業利益	262,718	215,795
営業外収益		
受取利息	629	585
受取配当金	411	2,102
その他	5,003	3,159
営業外収益合計	6,044	5,847
営業外費用		
支払利息	6,466	4,439
その他	689	2,685
営業外費用合計	7,156	7,124
経常利益	261,606	214,518
特別損失		
固定資産処分損	1,116	284
特別損失合計	1,116	284
税引前四半期純利益	260,490	214,233
法人税等	104,000	87,000
四半期純利益	156,490	127,233



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

(i) 受注の状況

(単位 百万円：未満切捨)

区 分		前年同四半期 (累計)	当四半期 (累計)	(参考)前期
		〔平成24. 4. 1 から 平成24. 6. 30 まで〕	〔平成25. 4. 1 から 平成25. 6. 30 まで〕	〔平成24. 4. 1 から 平成25. 3. 31 まで〕
受 注 高	主 機 関	1,114 (48.6%)	1,294 (53.7%)	5,306 (55.1%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	1,177 (51.4%)	1,116 (46.3%)	4,329 (44.9%)
	合 計	2,292 (100.0%)	2,411 (100.0%)	9,636 (100.0%)
受 注 残 高	主 機 関	3,973 (100.0%)	3,378 (100.0%)	3,679 (100.0%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	- (-)	- (-)	- (-)
	合 計	3,973 (100.0%)	3,378 (100.0%)	3,679 (100.0%)

(ii) 販売の状況

区 分		前年同四半期 (累計)	当四半期 (累計)	(参考)前期
		〔平成24. 4. 1 から 平成24. 6. 30 まで〕	〔平成25. 4. 1 から 平成25. 6. 30 まで〕	〔平成24. 4. 1 から 平成25. 3. 31 まで〕
主 機 関		1,654 (58.4%)	1,595 (58.8%)	6,140 (58.6%)
部 分 品 ・ 修 理 工 事		1,177 (41.6%)	1,116 (41.2%)	4,329 (41.4%)
合 計		2,832 (100.0%)	2,712 (100.0%)	10,470 (100.0%)
(うち輸出分)		(771) (27.3%)	(271) (10.0%)	(1,727) (16.5%)